

週間漁海況情報一第 8 号

平成 25 年 2 月 25 日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

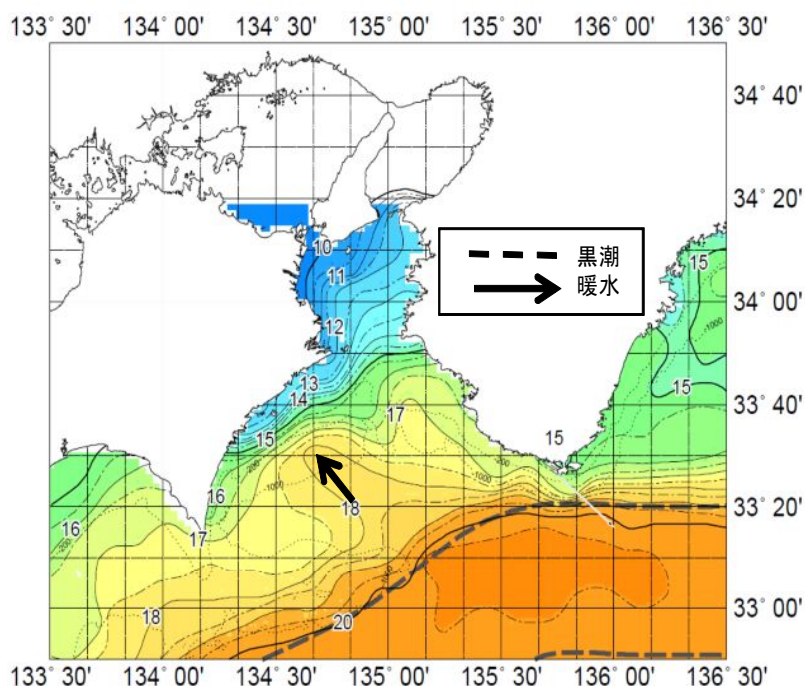
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H25. 2. 25）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、19～20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で8～9℃台、紀伊水道で9～13℃台、海部沿岸で12～18℃台である。紀伊水道外域では、海部沿岸南部に向けて17～18℃の緩やかな暖水流入がある。紀伊水道入口部から海部沿岸にかけて、内海系水と暖水の潮境が見られる。



海部沿岸海区観測結果

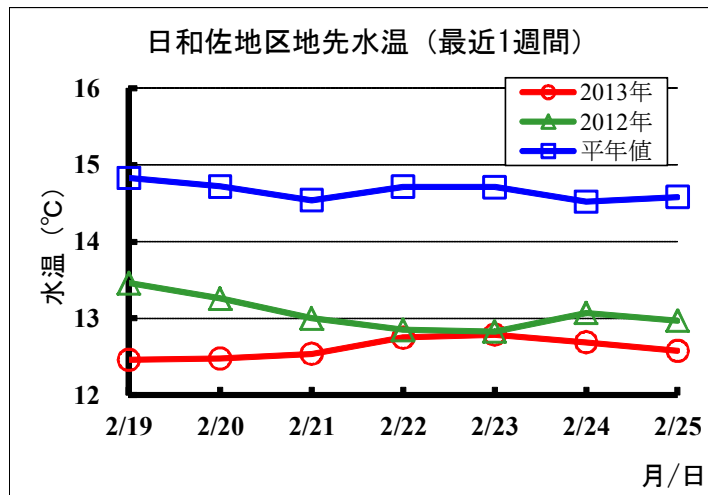
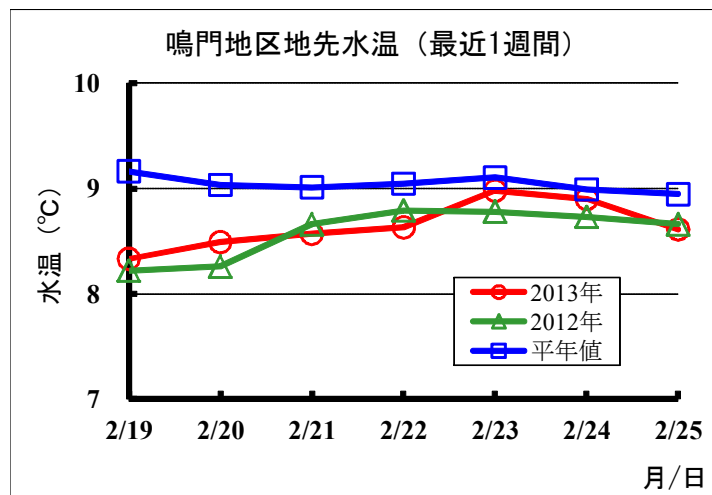
観測日		水 温						塩 分					
		表層	10m	20m	30m	50m	100m	表層	10m	20m	30m	50m	100m
2/20, 21, 22	今年値	15.4	15.4	15.4	15.3	15.6	15.5	34.3	34.3	34.3	34.3	34.4	34.5
	平年偏差	-0.9	-0.9	-0.8	-0.8	-0.7	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2	-0.1
	前年偏差	-0.2	-0.2	-0.2	-0.4	-1.1	-0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.2	-0.1

漁業調査船「とくしま」で2月20, 21 及び22 日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、表層～50m 層水温が「やや低め」の15.3～15.6℃、100m 層水温が「平年並」の15.5℃であった。

地先水温 最近1 週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の8.3～9.0℃、日和佐地区は「低め」の12.5～12.8℃、牟岐地区は「かなり低め」～「平年並み」の11.6～14.1℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49 以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50 以上



2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、中主体にアカムツが0.6トン（1日1隻あたり23kg）、大主体にキダイが0.5トン（同17kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、中主体にヒラメが0.2トン（同5kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、カタクチイワシが3.2トン（同98kg）、キビナゴが0.6トン（同43kg）、中主体にメジナが0.2トン（同26kg）、アオリイカが0.4トン（同7kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、中主体にスルメイカが0.4トン（同73kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、特大主体にマサバが0.2トン（同22kg）、中主体にゴマサバが0.7トン（同64kg）、大主体にアオリイカが0.3トン（同11kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2月18日～2月24日

県下6漁協から聞き取り						
漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	25	565	23	中主体
		キダイ	31	523	17	大主体
建網		ヒラメ	44	207	5	中主体
小型定置網		カタクチイワシ	33	3,248	98	
		キビナゴ	15	643	43	
		メジナ	9	236	26	中主体
		アオリイカ	61	448	7	
大型定置網		スルメイカ	5	367	73	中主体
釣り		マサバ	10	219	22	特大主体
		ゴマサバ	11	708	64	中主体
		アオリイカ	30	337	11	大主体

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の8～9℃台、日和佐地先で「低め」の12℃台で推移する見込み。